

登録番号 第 24422 号

プロフレア®SC

- 特長：
- 新規作用機構【殺虫剤分類 30】であるため、既存剤に抵抗性を獲得した害虫にも優れた効果を示します。
 - チョウ目・ハムシ類の専門剤です。
 - 速攻的な殺虫効果と、3週間程度の長い残効性があります。
 - 耐雨性に優れ、突然の降雨があっても効果の持続性に変わりありません。

プロフレアは三井化学クロップ&ライフソリューション（株）の登録商標です。

有効成分	プロフラニリド・・・5.0%	包装	250ml×20 500ml×20
性状	黄色水溶性粘稠懸濁液体	有効年限	5年
毒性	普通物※	危険物	—

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】

2023年8月2日付内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフラニリドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コガ アオムシ ハスモンヨトウ ヨウムシ オオタバコガ ウバ類 ハイマダラノメカ シロイチモンヨトウ	2000～4000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
はくさい	コガ アオムシ ハスモンヨトウ ヨウムシ オオタバコガ ハイマダラノメカ カブラハチ類 キスジノミハムシ ダイコンハムシ シロイチモンヨトウ	2000～4000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
だいこん	コガ ヨウムシ ハイマダラノメカ キスジノミハムシ カブラハチ類 アオムシ ダイコンハムシ	2000～4000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフラニリドを含む農薬の総使用回数
かぶ	コガ キジノミムシ ハイダラノメカ アオムシ ハスモントウ ダイコンムシ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
はなやさい類	コガ アオムシ ハスモントウ ヨウムシ オタバコガ ウバ類 ハイダラノメカ シロイモシヨウ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
非結球 あぶらな科 葉菜類	コガ アオムシ キジノミムシ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
レタ	ハスモントウ ヨウムシ オタバコガ ウバ類 シロイモシヨウ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
非結球レタ	ハスモントウ ヨウムシ オタバコガ ウバ類 シロイモシヨウ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ねぎ	ネギコガ シロイモシヨウ ネギハモグリバエ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
えだまめ	ハスモントウ オタバコガ ダイズサヤマハエ フタジヒメムシ マシクガ ツメクサ ウコンメカ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
		16～32 倍	0.8～1.6 L/10a			無人航空機 による散布	
かんしょ	ハスモントウ ナガシロシバ ヨツメカメノコムシ ヒルガオモグリガ エビガラスズメ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
		16～32 倍	0.8～1.6 L/10a			無人航空機 による散布	
きく	ハスモントウ オタバコガ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	発生初期	3 回以内	散布	3 回以内

使用上の注意事項-----

- (1) 使用前によく振ってから使用すること。
- (2) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (3) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - 1) 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - 2) 散布にあたっては、散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - 3) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - 4) 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- (4) 使用量は対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節すること。
- (5) みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用后 14 日間は入水しないこと。
- (6) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (7) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

通常の使用方法ではその該当がない。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさげ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。